

国立大学法人東京大学 株式会社東京大学 TLO

対話型 AI 面接サービス「SHaiN」

【開発の背景・従来の課題】

近年、企業の採用活動では応募者の増加により、面接官の工数増加や、地方在住者や多忙な求職者にとって、対面面接の調整は大きな負担となっており、24時間 365 日場所を選ばずに面接をすることができる AI を使用した面接サービスが流行しています。また、面接官が増えることによる評価のばらつきも課題となり、応募者を公平かつ効率的に評価することが難しくなっています。この課題を解決するために、「評価」の部分においても AI による自動化が必要であり、評価データの蓄積と AI・ディープラーニング等の技術を組み合わせたシステムが必要でした。

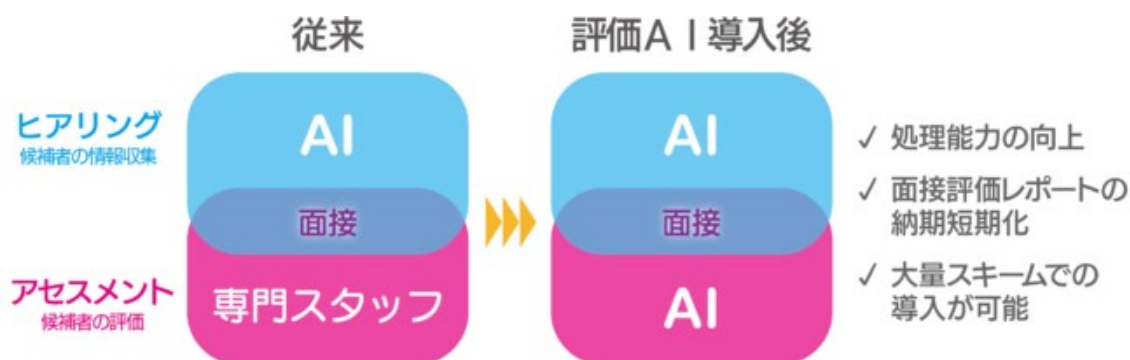
【開発経緯・開発体制】

株式会社タレントアンドアセスメントが提供する対話型 AI 面接サービス SHaiN は、応募者とのヒアリングは AI により自動化する一方、面接後に行うヒアリングを踏まえた評価の部分は専門スタッフが手作業で行っていました。そのため時間と人的コストが発生していることが課題でした。2020 年に株式会社タレントアンドアセスメントより課題の相談を受け、2021 年から東京大学大学院情報理工学系研究科山崎俊彦先生と株式会社タレントアンドアセスメントとで共同研究をスタートしました。共同研究によってオンライン面接時の発話内容及び音声の特徴から、人間の面接官と同等の行動特性/思考特性評価を行う学習済モデルを作成し、東京大学から株式会社タレントアンドアセスメントにソフトウェアの独占的なライセンスを付与し製品開発および実用化に至りました。

【実用化した技術内容と社会的インパクト】

採用面接における人物の評価を推定する AI であり、東京大学で作成した学習

用プログラムに株式会社タレントアンドアセスメントが有する4万件にも及ぶ面接データからなる学習用データセットを学習させ、学習済モデルを作成しました。2023年12月に株式会社タレントアンドアセスメントは、当該学習済モデルを全プランに適用し、全工程のAI化を達成した対話型AI面接サービス「SHaiN」として再リリースしました。対話型AI面接サービス「SHaiN」は人間の代わりにAIが面接を実施することで、人間が行う面接で課題視されてきた評価のばらつきが改善され、合否基準の統一、先入観のない公平公正な選考を実現するサービスです。利用する企業はAI面接によって作成された面接評価レポートなどを参考に、採用可否だけでなく、対面の面接時には候補者ごとに適した質問の投げかけや、特徴に合わせた動機付けとして活用することができます。『SHaiN』は、現在700社を超える会社にご活用いただいています。



(資料提供：株式会社タレントアンドアセスメント)

【関連サイト（販売カタログ等の参考情報）】

株式会社タレントアンドアセスメント 製品紹介サイト

<https://shain-ai.jp/>

【詳細情報のお問い合わせ先】

株式会社タレントアンドアセスメント お問い合わせ窓口

<https://shain-ai.jp/contact/>

株式会社東京大学 TLO お問い合わせ窓口

<https://todaitlo.com/contact>